

2017年9月通常会議 決議案に対する討論

2017年10月2日

杉浦 智子

私はただいま提案されております

決議案第2号 必要な耐震化が図られていない庁舎の整備を実現するため、中消防署用地の早期選定を求める決議（案）に対する賛成討論を行います。

大津市においては、現在2015年度に実施された庁舎整備検討業務において示された、本館は免震工法、別館は必要な耐震性が確保できていないために、取り壊して中消防署を含んだ新施設を整備する方向で、基本方針を策定することになっています。

ところが2016年11月に隣接旧国有地については土砂災害警戒区域に指定されていることから、中消防署の移転設置場所として最適地ではないとの見解が示されました。以降、市議会通常会議において、建設予定地についての議論が続いていますが、未だ候補地の調査検討という答弁が繰り返されています。

近年、自然災害が全国各地で発生する中において、自治体における防災・減災のための体制整備は喫緊の課題です。とりわけ防災の拠点としての消防署の整備は市民の方々の関心事でもあります。また、中消防署の整備地の検討いかんでは、中消防署以外の庁舎整備に大きく影響を及ぼすものです。市民の安全・安心のまちづくりにとっても最重要課題です。

関係部署が連携し横断的な対応をしているとの議会答弁もありましたが、今議会中にも建設予定地について結論が出る見通しが無いままであり、この事態を大変憂慮するものです。

消防局では日常的な重要な任務もあり、ましてや候補地選定の専門的な見地がある部署ではないことから困難が生じているのではないかと危惧します。このままの消防局任せには限界もあり、市長を先頭に庁内が一丸となり、しっかりと体制をつくり、速やかに最適地を選定すべきであり、市議会、また市民のみなさんの理解を深められるよう説明することが求められると考えるものです。

よって本決議案に賛成します。